

令和元年8月20日

令和元年度大分県・東部地区総合防災訓練(概要)

1 目的

集中豪雨等における災害対応能力の向上を主眼として、住民参加型の実践的な訓練を実施することで、自治体と関係機関・団体との連携強化ならびに地域住民の共助精神の高揚を図ることを目的とする。

2 実施日時

令和元年9月1日(日) 9時00分～12時00分

3 実施場所

国東市：国見グラウンド、国見 B&G 海洋センター、くにみ海浜公園、国東市伊美港、国東市洋上、国東市消防本部、大分空港

杵築市：杵築市山香小学校、杵築市中山香駅、杵築市旧上小学校、杵築市役所本庁舎、杵築市役所山香庁舎

日出町：日出町藤原地区赤松区、日出町川崎運動公園、日出町川崎体育館、日出町保健福祉センター、日出水利耕地事務所

姫島村：離島センターやはず、姫島中学校、姫島小学校
(メイン会場は国東市の国見グラウンド)

4 主催

令和元年度大分県・東部地区総合防災訓練実行委員会

(大分県、国東市、杵築市、日出町、姫島村、他全参加機関・団体で構成)

会長：国東市長

副会長：杵築市長、日出町長、姫島村長、大分県防災局長、東部振興局長

5 訓練の主たるポイント

- (1) 住民参加型の実践的な訓練の実施
- (2) 自治体と各防災関係機関等の連携強化
- (3) 住民避難訓練及び避難所運営訓練の実施
- (4) 常備消防相互応援協定等各種協定に基づく活動についての検証
- (5) 孤立地区からの救助救出訓練の実施
- (6) 映像機器等を駆使した災害情報伝達訓練の実施

6 訓練想定

(集中豪雨)

8月30日から9月1日未明にかけて、停滞している前線への南からの湿った空気の流入の影響によって前線活動が活発化、東部地区付近には線状降水帯が発生し、断続的に1時間に100mmを超える大雨となり、各地区でがけ崩れによる倒壊家屋や火災が多数発生している。また、土砂の影響により、JR電車の脱線や道路寸断による孤立地区も発生しており多数の負傷者が発生している状況。

7 今年度の新たな取組み

【国東市会場】

- ・海上自衛隊(初参加)の支援艦と海上保安庁の巡視船が連携した洋上遭難者の捜索及び救助救出訓練
- ・大分空港において広域搬送拠点臨時医療施設(SCU)を開設

【杵築市会場・日出町会場】

- ・ドローンを活用した土砂災害情報収集訓練等

【杵築市・日出町会場】

- ・両市町間での広域避難訓練(日出町藤原赤松区(孤立地区)から杵築市山香小学校へ一時的に避難者を受入れる訓練)

8 参加機関・車両等

参加機関：大分県、大分県警察、県内各消防本部、自衛隊、海上保安庁、九州電力株式会社大分支社、各通信事業者、大分県トラック協会、全日本パン協同組合連合会九州ブロック、大分県生活協同組合連合会、九州旅客鉄道株式会社大分支社

他

計87機関 約1,100名及び地域住民 約14,000名

参加車両等：車両約290台、ヘリコプター5機(県警、陸上自衛隊、国交省、ドクターヘリ、県防災航空隊)、固定翼機1機(海上保安庁)、船舶2隻(海上自衛隊、海上保安庁)

【問い合わせ先】

防災局 防災対策企画課 後藤、佐藤

TEL：097-506-3139(ダイヤルイン)又は

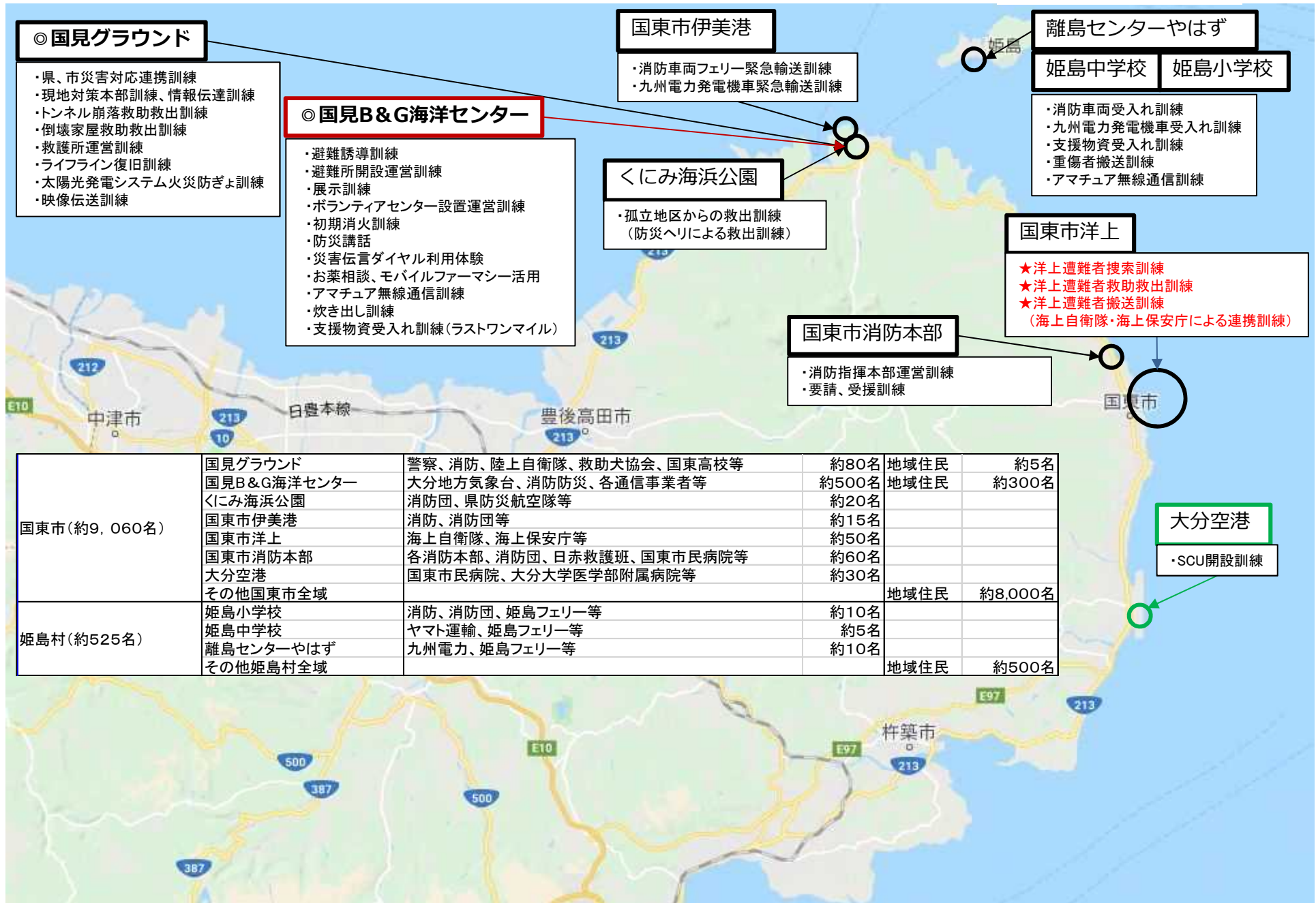
県庁内線 3137、3140

令和元年度 大分県・東部地区総合防災訓練

(令和元年9月1日(日)9時00分～12時00分)

令和元年8月20日(火) 防災局防災対策企画課

国東市・姫島村会場



令和元年度 大分県・東部地区総合防災訓練

(令和元年9月1日(日)9時00分～12時00分)

令和元年8月20日(火) 防災局防災対策企画課

杵築市・日出町会場

杵築市(約1,150名)	杵築市役所本庁舎	杵築市	約15名			
	杵築市山香小学校	杵築市防災士協議会、杵築市社会福祉協議会等	約90名			
	杵築市旧上小学校	日本ドローン協会、上地区住民自治協議会等	約20名			
	杵築市山香庁舎	杵築市、陸上自衛隊等	約20名			
	杵築市中山香駅	杵築市立山香病院、中山香地区住民自治協議会等	約60名			
	その他杵築市 (若宮地区、下市地区、上市地区、鶴成地区)			地域住民	約945名	
日出町(約4,310名)	日出町藤原赤松区	警察、消防、陸上自衛隊、NTT西日本大分支店等	約50名	地域住民	約30名	
	日出町保健福祉センター	大分県生活協同組合、佐川急便別府営業所等	約25名			
	日出水利耕地事務所	県トラック協会、倉庫協会等	約10名			
	日出町川崎運動公園	陸上自衛隊、消防、消防団等	約20名			
	日出町川崎体育館	陸上自衛隊、日出町防災士会、NTT西日本大分支店等	約35名			
	その他日出町 (藤原地区赤松区、川崎地区の一部)				地域住民	約4,140名

